

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	信州大学	整理番号	1-1-005
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	環境マインドをもつ人材の養成 －環境調和型技術者の育成プログラムを通して－		
申請単位	学部単位		
申請担当者	野村 彰夫		
<p>(取組の概要)</p> <p>環境に優しい社会の実現を目指して、信州大学工学部は、平成 10 年以来、環境マインドをもつ技術者の養成に取組んできた。この間、平成 13 年 5 月には国立大学の学部・大学院としては初めて ISO14001 の認証を取得するとともに、同年から地域と連携した環境教育を展開してきた。この取組では、キャンパス内の紙、ゴミ、電気、化学薬品、実験廃液などを教材とした日常の環境配慮活動の実践を環境教育の基盤とし、このもとで環境倫理などの環境基礎教育や環境関連の科学技術教育を充実させるとともに、キャンパス内の環境内部監査や ISO14001 認証取得の地域自治体・企業の環境内部監査を学生が行う特徴ある教育プログラムを展開してきた。このようにして環境マインドを身につけた学生たちは、工学の専門教育を受け、環境に優しい社会の実現を目指す技術者として社会に巣立っている。この取組の成果をもとに、環境マインドをもつ人材の養成が信州大学のすべてのキャンパスで始まっている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、信州大学工学部の教育目標である「環境調和型技術者の育成プログラムを通して、環境マインドをもつ人材の養成」を達成するために、既に6年以上にわたって組織的に実施され、ISO14001 の取得による効果などに実証されるように大きな効果を上げています。</p> <p>現在、大学には社会・経済構造、産業構造の急激な変化に対応できる特色ある教育が求められており、この取組を工学部長のもとで学務委員会などと同列の環境委員会を設置し、教員と学生で連携して推進している点は、こうした社会の多様な要請に充分応えるべく優れた取組であると認められます。特に前者の環境委員会設置については先進性も見られ、この取組は他の大学・短期大学の参考になり得る優れた事例であると言えます。</p> <p>また、この取組には、工学部だけでなく経済学部や教育学部を含む全学的な展開への拡大という課題も認められますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。</p>			